



No.192

2025.7月



CONTENTS

6月定例会

- 第2回臨時会を開催 2~3
議長・副議長を選出／委員会構成などを決定
- 第2回定例会を開催 4~6
議案を審議／固定資産評価審査委員会委員を選任
- 一般質問 8~13
5人が登壇・町長に見解を求める
- 女性議員によるおしゃべり会 14~15
- 元気なグループ紹介 16
「塚脇獅子連」 代表 植田 隆

三木町 議会だより



大きくなあれ!

平井小3年生による田植え体験

議長に市原信夫氏、副議長に鎌倉大祐氏を 選出し、各委員会構成を決定

就任のごあいさつ



第44代 市原 信夫 議長

町民に応える議会に

令和7年第2回臨時会で第44代議長に選出していただきました。生まれ育った三木町において、議会の議長に選ばれることは光栄であります。

学校、道路、買い物、病院……と、皆さんの住む町が、どんな課題を抱えているか、それを議論しているところが町議会です。

地域の代表である議員が、どれほど住民の悩みを把握し、行政の執行部に施策を要求し、審議しているか。それを知る場が、町議会です。

戦後「地方自治は民主主義の学校である」

と言われて80年が経ちますが、少子高齢化の急激な進行により、地方消滅が取りざたされております。

三木町は昨年、学校給食センターによる給食提供を開始し、今、公立認定こども園計画に取り組んでいきます。子育てだけでなく、学校など公共施設の老朽化、福祉、教育をめぐる課題も山積しております。

伊藤町長は「子育てよし、住んでよし、学び遊んでよし、働いてよし」、「若者が帰ってくるふるさとを創る」をスローガンにしておりますが、それを検証するのは、住民自身であります。

議会に厳しい目を向けていただきたい。傍聴に来なくてもインターネット中継・録画でも見ることが出来ます。そんな町民に配慮することのできる議会をめざしたいと思っております。



第45代 鎌倉 大祐 副議長

議会を身近に

この度、議員各位の温かいご推挙をいただき、副議長を拝命いたしました。

まだ1期目で経験も浅い立場ではありますが、だからこそ気づける視点や、若い世代として感じる課題に、しっかりと向き合っていかなければならないと感じております。

変化の激しい今の時代においては、柔軟に新しい考え方を取り入れていくことも、今の議会には求められているのではないのでしょうか。

変えていくべきことと守り続けるべきこと、その両方を大切にしながら、町民の皆さま

まにとってより身近で、開かれた議会をめざしてまいります。議長を支え、三木町の進むべき道をしっかりと議論できる場を築きながら、議会の円滑な運営に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



常任委員会

◎委員長
○副委員長

総務建設

公有財産の管理、処分、道路、公共下水道、農業振興、土地改良事業に関する事項等

教育民生

教育、住民生活、保健、福祉に関する事項等

議会運営委員会

議会の運営に関する事項

議会改革特別委員会

議会改革に関する事項

特別委員会など



富田 修司



筒井 米市



○森本 晃司



◎福家 昭三



鎌倉 大祐



岡 昌吾



鈴木 宏明



小島 重俊



市原 信夫



渡辺 達実



○川波 礼子



◎友保 陽子



溝渕 裕子



安西 進



中川 和樹

議会選出監査委員

安西 進

学校施設等整備特別委員会

学校施設等の整備方針、施設整備、教育環境に関する事項

◎川波 礼子
◎溝渕 裕子
○渡辺 達実
富田 修司
鈴木 宏明
市原 信夫
福家 昭三

広報編集委員会

議会だより発行

◎溝渕 裕子
◎友保 陽子
○森本 晃司
中川 和樹
岡 昌吾
福家 昭三
川波 礼子
鎌倉 大祐

学校施設等整備特別委員会

◎岡 昌吾
◎渡辺 達実
○森本 晃司
友保 陽子
福家 昭三
川波 礼子

広報編集委員会

◎小島 重俊
○鎌倉 大祐
○筒井 米市
森本 晃司
中川 和樹
安西 進
友保 陽子
岡 昌吾



6月 定例会

子育て応援給付金(物価高騰対策)に

1290万円追加補正

令和7年6月定例会は、4日から12日までの9日間の会期で開催され、一般会計補正予算など原案どおり可決・承認した。

主な補正は、定額減税の不足額給付に係る経費に約1億2197万円、65歳以上の高齢者等を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種事業に約2818万円、子育て世帯支援として、18歳以下の子ども1人あたり3千円増額し、1万5千円を給付する補正に1290万円など。また、固定資産評価審査委員会に上枝秀樹氏の選任に同意した。

一般会計補正予算(5月・6月)の主な内容

| | |
|--------------------|-----------|
| 介護施設等物価高騰対策支援事業 | 608万円 |
| 子育て応援給付金事業(物価高騰支援) | 6,714万円 |
| 医療施設等物価高騰対策支援事業 | 826万円 |
| 農業者物価高騰対策継続支援事業 | 1,589万円 |
| 定額減税及び定額減税補足給付金事業 | 1億2,197万円 |
| 放課後児童健全育成事業費 | 963万円 |
| 新型コロナウイルスワクチン接種事業 | 2,818万円 |
| 全国瞬時警報システム整備事業 | 724万円 |

一般会計補正予算(第1号・第2号・第3号)

| | |
|--------|-------------|
| 補正前の金額 | 129億9,900万円 |
| 補正額 | 2億7,829万円 |
| 補正後の金額 | 132億7,729万円 |

一般質問には5人が登壇し、執行部の考えをたじた。

5月の臨時会では、議長・副議長の辞職に伴う選挙や委員会構成の変更、一般会計補正予算(約8883万円)などを審議した。



議案を審議

第2回臨時会

補正予算

一般会計補正予算(第1号)

6事業総額約8883万円の追加補正について審議した。補正後の予算総額は、約130億8783万円。

■地域活性化センター(宝くじ)助成事業 350万円

採択された2事業

①三木町観光協会 「獅子たちの里 三木」を未来へつなぐプロジェクト

②三木町北部地区の生活環境を良くする会 遺跡巡りのルート化・散策イベント開催事業

84万円

■物価高騰対策支援事業

物価高騰が続く中で、国の対策事業を活用し、町では5つの事業に対して、独自の支援を行う。

①介護施設等支援

施設系サービス事業所に18万円、居住系サービス事業所に9万円、通所系サービス事業所に6万円、訪問・相談系サービス事業所に5万円 605万円

②子育て応援給付金

18歳以下の子ども一人あたり1万2千円を支給 5160万円

③私立認可保育所等支援

一施設あたり12万円 (7施設分) 84万円

④医療施設等支援

病院(一施設あたり36万円・一病床あたり2500円)、診療所(有床18万円・無床9万円)、それ以外の施設5万円 821万円

⑤農業者継続支援

認定農業者等に8万円、令和6年中に50万円以上の農業収入のあった販売農家に2万5千円、酪農・肉用牛の畜産業者に1頭あたり5千円(上限50万円) 1571万円



▲農業を継続するために

第2回定例会

補正予算

一般会計補正予算(第2号)

15事業総額約1億7614万円の追加補正について審議した。補正後の予算総額は、約132億6398万円。

■定額減税及び定額減税補足給付金事業

昨年実施した、調整給付の支給額に不足が生じる場合に、追加で給付を行う「不足額給付」に係る経費 約1億2197万円

■放課後児童健全育成事業費

白山児童クラブにおける第3教室及び、平井児童クラブにおける夏季休業期間中の臨時教室開設に係る経費 約963万円

■新型コロナウイルスワクチン接種事業

65歳以上の高齢者等に実施するための経費

約2818万円

■全国瞬時警報システム整備事業

Jアラートの新型受信機の整備及び、町防災行政無線への連携措置に係る経費

約724万円

問 溝渕議員

令和6年度の新型コロナウイルスワクチン接種者数は。

答 住民健康課長

65歳以上の対象者に対し、約25%の2256名が接種した。今年度も同等の接種率を見込んだ予算を計上している。

一般会計補正予算(第3号)

2事業総額約1331万円の追加補正について審議した。補正後の予算総額は、約132億7729万円。

■子育て応援給付金事業

国の交付金の増額措置に伴い、子ども一人あたりの支援金を3千円増額する。

1290万円

人 事

固定資産評価審査委員会委員

上枝 秀樹氏の選任に同意



令和7年9月就任 1期目
大字氷上(69歳)

教育民生常任委員会

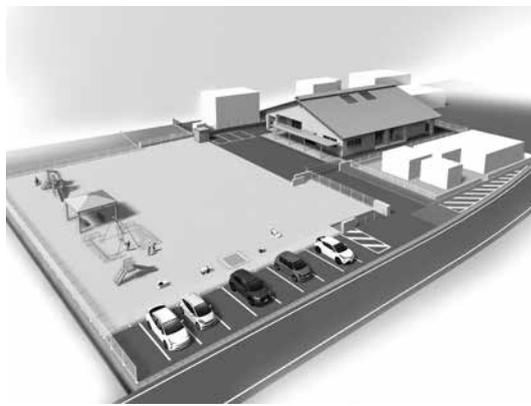
令和7年4月22日

白山文化センター施設整備

本事業は、地元説明会での要望を踏まえ、令和6年度に用地を選定し、敷地面積約1200㎡、延床面積約

400㎡、鉄骨構造平屋建てで、基本設計を終えている。

新センター建設に係る概算事業費の総合計は、設計業務、既存建物解体撤去工事を含め、約2億4200万円を見込んでいる。



▲新センターイメージ図

1スの場として、施設の提供は考えているのか。

答 人権推進課担当

本年6月から新センター供用開始までは、平木文化センターで実施する。

なお、新センターにおける運用については、今後の課題としている。

問 友保委員

すこやかひろばの北側に駐車場が計画されているが、センターの利用者だけでなく、すこやかひろばの利用者も利用できるのか。

また、教育集会所は現状のままか。

答 人権推進課担当

駐車場は、センター利用者のみが駐車できるといった制限は考えていない。

また、教育集会所の北側に一部駐車場を確保しているが、今後、利用を検討する際には、駐車場の拡張整備等を検討していきたい。

問 溝渕委員

現在は、香川大学と連携し、不登校児童・生徒を対象としたフリースペースを設けているが、計画にあたり、関係機関等との協議や検討はされたか。

また、引き続きフリースペ

定例会・臨時会 提出議案への各議員賛否表

○賛成 ●反対 ー議長 欠(欠席)

| 議案番号・議案名 | | 採決 | 鎌倉大祐 | 溝淵裕子 | 川波礼子 | 福家昭三 | 岡昌吾 | 友保陽子 | 安西進 | 中川和樹 | 森本晃司 | 市原信夫 | 鈴木宏明 | 小島重俊 | 富田修司 | 渡辺達実 | 筒井米市 |
|---------------|---------------------------------|----|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 第2回臨時会 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 報告第1号 | 繰越明許費繰越計算書（一般会計） | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ |
| 報告第2号 | 繰越計算書（三木町下水道事業会計） | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第1号 | 財産の取得 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第2号 | 専決処分の承認 （三木町税条例の一部を改正する条例） | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第3号 | 専決処分の承認（三木町国民健康保険税条例の一部を改正する条例） | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第4号 | 令和7年度三木町一般会計補正予算（第1号） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ |
| 第2回定例会 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 報告第1号 | 三木町土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出 | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第1号 | 令和7年度三木町一般会計補正予算（第2号） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第2号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任 | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第3号 | 令和7年度三木町一般会計補正予算（第3号） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ |

| 市原信夫 | 鎌倉大祐 | 筒井米市 | 渡辺達実 | 富田修司 | 小島重俊 | 鈴木宏明 | 森本晃司 | 中川和樹 | 安西進 | 友保陽子 | 岡昌吾 | 福家昭三 | 川波礼子 | 溝淵裕子 | 議員氏名 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 5/15 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 5/16 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6/4 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6/10 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6/12 |

○は出席 ●は半欠 ×は欠席

（本会議のみ）

議員出欠表

第2回臨時会（5月）
第2回定例会（6月）

一般質問

ここが聞きたい!

町政を問う

5人が質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、
町民の声や自身の考え方をもとに町長や教育長などの
方針を問うものです。



1人60分の制限時間。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。
詳しい内容については、インターネット中継をご覧ください。

| 質問者 | 質問事項 | ページ |
|-------------------|--|-----|
| ふけ しょうぞう 福家 昭三 | 1 財産区の財産活用の提案・支援はできないのか | 9 |
| みぞぶち ゆうこ 溝渕 裕子 | 1 生理用品を公共施設等のトイレに設置する考えは 2 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」への 取組は | 10 |
| わたなべ たつみ 渡辺 達実 | 1 教育の重点方針の具体化は 2 浄化槽設置整備事業 3 多面的機能支払交付金制度 | 11 |
| おか しょうご 岡 昌吾 | 1 地域密着型サービスの利用条件の緩和は 2 農業施策 | 12 |
| ともやす ようこ 友保 陽子 | 1 リチウムイオン電池処分の追加対応の検討は 2 教職員の働き方改革 | 13 |



福家 昭三 議員

問 財産区の財産活用の提案・支援はできないか

答 管理と処分の範囲内でのみの権能であり、支援策は行っていない

問 財産区の財産の内訳及び財産区議会の運営状況並びに会計状況は。

耳に届かぬ
風のささやき
違う景色を君は見る

つぶやき

答 総務課長
財産区の本来の目的は、その財産の管理及び処分であり、その範囲内での権能と考えており、積極活用に向けた支援策は行っていない。
なお、田中財産区からの寄附により田中公民館西の駐車場整備を行っている。

問 昭和58年の財産区の権能に関する政府見解は、財産区の財産活用による地域振興の可能性を示している。
また、地方自治法の改正により、市町の関与が強化され、監督権限を持つようになったが、共有財産の活用についての関与と実際の支援体制は。

| | | 財産区 | | | | | |
|-----------|-----|----------------|-----------|-----------|---------|---------|---------|
| | | 神山 | 田中 | 氷上 | 下高岡 | 井戸 | |
| 財産内訳 | 土地 | 単位 | | | | | |
| | 山林 | m ² | 2,009,000 | 494,000 | 197,000 | 333,000 | 755,000 |
| | その他 | m ² | 0 | 766 | 234 | 1,000 | 5,236 |
| | 預金等 | 千円 | 24,770 | 29,863 | 2,573 | 4,345 | 82,659 |
| 財産区議会運営状況 | | | 年1回 | 年2回 | 年1回 | 年1回 | 年2回 |
| 会計運営状況：円 | | 収入額 | 296,352 | 1,501,529 | 2,915 | 3,212 | 19,333 |
| | | 歳出額 | 484,982 | 2,061,625 | 196,018 | 199,123 | 391,935 |

答 総務課長
左表のとおり。

◆財産区とは
明治時代に始まった日本の自治制度のひとつで、市町村とは別に合併前の旧村などの地域共同体が持っていた共有財産を管理・運営する特別な制度であり、特別地方公共団体として地方自治法により定められている。
本町では、町制施行と時期を同じくして5つの財産区（神山、田中、氷上、下高岡、井戸）が設置され、各々の財産区議会において意思決定し、運営している。

答 総務課長
財産区は国や地方自治体と同じく、非課税扱いのため評価額は算出していない。

問 財産区の所有土地の評価額は。



問 生理用品を公共施設等の トイレに設置する考えは

答 トイレに設置する予定はない



溝渕 裕子 議員



▲他市の公共施設のトイレに設置されている生理用品

問

生理は、予期せぬタイミングで来ることもあり、トイレに生理用品が設置されると、助かることがある。

また、経済的理由により、生理用品の購入をためらう若者の存在が、厚労省の調査でも明らかになった。各地の公共施設のトイレでの設置も進んでいる。本町でも公共施設のトイレに設置してはどうか。

答 総務課長

本町では経済的理由等により必要な方には、三木町社会福祉協議会の窓口で手渡し、相談等にも対応している。現時点では、公共施設のトイレに生理用品を無償設置する予定はない。

問

学校のトイレでの生理用品の設置状況は。保健室でもらうのをためらう、言い出しにくい子どももいるのではないか。

答 教育長

トイレに置くのではなく、保健室に常備し、養護教諭と相談できる機会としている。言い出しやすい雰囲気づくりに努める。

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（以下、女性支援法）」への取組は。

問

女性支援法は、2024年4月に施行された。困難を抱える女性は、生活困窮、身体的・精神的DV、ストーカー被害、性暴力、孤立など問題は複雑化している。

町での困難を抱える女性の実態把握、相談窓口、支援体制等は。

答 人権推進課長

困難を抱える女性は、様々な問題が複雑に絡み合っている状況だと推察される。本課窓口相談にいられた場合は、子ども女性センター等、県と連携し、情報共有を図っている。

問

女性支援法を実効性のあるものにするために、町の本計画の策定予定は。

答 人権推進課長

現時点で、策定予定はない。

つぶやき

世界の男女平等実現に、123年かかる。そんなに先まで待てませぬ。





渡辺 達実 議員

問 教育の重点方針の 具体化は

答 教育行政の充実に向け 取り組んでいく



▲平井小学校

問 新しく間嶋教育長が就任した中で、今年度の重点方針の具体化は進んでいるのか。

答 教育長

「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「多様な教育ニーズへの対応」「教職員の服務規律の確保」「信頼される学校づくり」など6つを基本に、具体的な施策を進めていく。

浄化槽設置整備事業

問 浄化槽設置整備事業費当初予算3500万円が新年度初日の4月1日に終了した。新築や改築を考えていた人は大変困っている。どうしてこのような事態を招いたのか。補正予算は検討しているのか。

答 環境下水道課長

水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽を設置する人に補助金を交付する事業。今年度3500万円の予算を組んで対応してきた。汲み取り便槽や単独浄化槽からの転換申請が想定していたよりも多くあったため、予算を使い切る結果となった。補正予算は、事業が国・県からの補助金と町費を併せて交付している事業のため、補正予算対応は難しい。

多面的機能支払交付金制度

問 補助金制度が変わり、農振農用地域以外の田も長寿命化事業の対象に加えられた。どのような状況で、制度が改善されたのか。

答 農林課長

近年、農業者の減少や高齢化の進行に伴う集落機能の低下により、営農活動や地域活動によって支えられてきた農村地域の多面的機能の維持が困難になってきている。本町においては、この事業を活用し、活動組織が農道や水路・ため池の保全管理などの共同活動に取り組んでいる。農道・水路の改修などで、農振農用地域以外にも対象に含む要望が強く、香川県が基本方針を見直し、防災重点農業用ため池の受益地に含まれる「白地」が、「施設長寿命化のための活動」の対象となった。



問 地域密着型サービスの 利用条件の緩和は

答 慎重に判断していく



岡 昌吾 議員

つづき

6か月問題は色々な
施策につながって来
るの……

問 現在、地域密着型サービスを利用するには、居住実態が6か月以上経過しないとサービスが利用できない。

認知症の進行に伴い、本人が単独での生活継続が困難になるケースが多く、家族の住む市町村へ転居し、介護を受けることが極めて自然かつ現実的な選択である。

しかし、現行の6か月要件により、転居後すぐにはサービスを利用できないため、家族の介護負担が急激に増し、共倒れのリスクが高まる。結果的に要介護者・家族双方のQOLを著しく低下するおそれがあるが、町の考えは。

答 福祉介護課長

地域密着型サービスの趣旨は、住み慣れた地域で継続的

に介護サービスを受けることであり、利用条件の緩和については、元々町内に住む要介護者の方にとってサービス利用の機会損失につながることから、慎重に判断していく。

問 高齢者・認知症の方の受け入れ施設は足りているのか。

答 福祉介護課長

現在、町内4つのグループホームは、合計81名が利用し、満床であり、待機者は10名程度。

また、2つの特別養護老人ホームについても合計165



名が利用し、満床であり、待機者は、160名程度である。介護保険運営協議会の中で、施設整備の必要性を含めた、地域のニーズと適正なサービスのバランスを見極めていく。

農業施策

問 現状の生産力施策は。

答 農林課長

昨年度の水稻の作付面積は令和5年度より約3%減少しており、稲作営農をしている認定農業者の平均年齢は65歳、認定農業者全体の平均年齢は60歳であることから、高齢化が進んでいる。そのような中、総合戦略の中で農業の次世代を担う人材の確保に努めるとともに、担い手への農地の集積・集約化を進めてきた。

認定新規就農者や規模拡大をめざす認定農業者に対し、新規事業に必要な費用の助成や人手不足を解消するICT・AI機能が付加された機械等の導入を推進している。





友保 陽子 議員

問 リチウムイオン電池処分の追加対応の検討は

答 公共施設への回収ボックス設置などを検討

問 周知の強化や回収ボックスの設置など、追加対応の検討は。

答 環境下水道課長

加熱式たばこ、ハンディファンなどの具体例を示し、適切な廃棄を周知する啓発活動を強化していく。

また、公共施設への回収ボックス設置など環境省の通知に基づき、適正処理の検討に努める。



※時事通信より

つづき

火災事故

起きちゃっ前に

対処せよ

問 誤った廃棄による火災事故が全国的に増加しており、令和5年度は8543件の火災等が報告されている。

答 環境下水道課長

本町では、リチウムイオン電池を処理困難物として扱い、一般社団法人JBR Cが登録協力店を通じて回収を実施している。

これまで、町内で火災事故の発生はないが、全国的に頻発しており、深刻な課題となっていることから、分別の徹底が求められる。

教職員の働き方改革

問 長時間勤務の実態をどのように把握して、改善に向けた取組を進めているか。

答 教育総務課長

勤怠管理システムを導入。長時間勤務の教職員には個別面談を実施し、負担軽減策を

検討している。

令和5年度の時間外勤務の平均は月47・5時間であったが、令和6年度は41・5時間に減少。一方で、年度当初は月80時間以上勤務する教職員も見受けられるため、継続的な改善が必要である。

問 本町独自の働き方改革の施策や今後の方向性は。

答 教育長

中学校でデジタル採点ソフトを導入している。また、保護者向けの連絡アプリや教職員向けにビジネスチャットツールを導入しており、欠席連絡や行事案内の効率化、業務連絡を円滑化する取組も進んでいる。

教職員の業務は授業だけでなく、多岐にわたり負担軽減に向けたさらなる工夫が求められている。校務の効率化や勤務時間管理の徹底を進めていく。



「初企画」第1弾

3人の女性議員によるおしゃべり会

三木町の長い歴史の中で、2年前に議会に女性議員が3人誕生しました。
(定員16人のうち女性議員3人)

議員になったきっかけは？

友保 以前は町の広報には関心がなかったけど、子どもが生まれてから、子育て情報などに目が向くようになりまして。そんな中、思い切って町政懇談会に参加しました。

溝淵 それは勇気がいりましたね。

友保 私は懇談会で「ゴミ袋に持ち手をつけてほしい」とお願いしました。以前住んでいた岡山では、持ち手付きだったのに、三木町のはなくて。すると、「在庫があるからすぐには変えられないけど、意見として聞いておきます」と言われて。その時は意見を伝えられて満足でしたが、数か月後にスーパーで持ち手付きのゴミ袋が売られているのを見て驚きました。

川波 意見が本当に反映されたんですね。

友保 その時、町民の声って届くんだと実感しました。当時、女性議員がいなかったのでも、生活者目線の声を届ける人が必要だと思ったんです。

川波 私の場合は、地元の議員さんが引退することになり、後継者を探していたときに声をかけられたんですが、1年以上お断りしていたんです。

溝淵 悩みますよね。

川波 家族からの反対と、自分も自信がなかったのもあって。でも、地域から「誰かは出さなければ」という雰囲気もありましたね。

友保 ありますよね。その空気。

川波 以前、PTA活動をしていた時、当時の町長に予算要望を出した経験もあったので、何か私でも役に立てるかもしれないと思うようになり、覚悟を決めました。最終的に



友保 陽子議員



川波 礼子議員

家族も「しようがないな」と認めてくれました(笑)。

溝渕 私は、阪神淡路大震災の後、神戸で20年近く被災地の障がい者支援に関わっていたので、その経験を活かしたいと思っていました。

私が立候補を決めた時、周囲の人に「えっ、お父さんが出るん？」って言われて(笑)。父は色々な役などもしていたので、まさか娘の私が出るとは思っていなかったみたいです。でも、「女性議員が増えてほしい」とも言ってくれました。

川波 経験を活かしたいという気持ち、すごく分かります。

溝渕 声を出さないと変わらないうって、神戸でも実感して、当時、三木町議会に女性議員は1人しかいなかった。もっと女性や暮らしの声を届けたいと思って、挑戦しました。

女性議員が増えることで町は変わる

川波 女性だから気づくことは確かにあります。例えば、子育てや介護のことは、男性だけの議会では、あまり議論にならないまま終わることもがあると議員になって気づきました。

溝渕 本当にそう。私は今回、生理用品について一般質問をしました。こういうテーマは、なかなか分かってもらにくいのかなと思いました。

友保 やっぱり、女性議員が3人になり、議会の雰囲気が変わりましたよ。「議会が和やかになった」とお声をいただいたこともあります。

皆さんへ伝えたいこと

友保 政治は生活の延長だから、子育て中のママや若者にもどんどん声を上げてほしい

ですね。議員をめざす人も大歓迎です。

川波 専門家じゃなくても、声を拾い、届ける役割を担えば、もっと暮らしやすい町になることを知ってもらいたいです。

溝渕 町民の声、声にならない思いなどが政策に反映される瞬間を増やしたいし、仲間がもっとほしいです。みなさん、どうか気軽に声をかけてください。

日本の地方議会における女性議員の割合(町村議会)は、2025年3月末時点で17%と、まだまだ低い状態が続いています。議会は様々な視点があつてこそ活性化し、町民の声がより反映されるものです。

議会をもっと近くに感じていただきたく、女性議員によるおしゃべり会を企画しました。次の企画もお楽しみにしてください。



溝渕 裕子議員

元気なグループ紹介

「塚脇獅子連」

明治時代の証はありますが、いつから始まった獅子連なのか定かではありません。

当初、塚脇集落に住む男子

が参加する秋祭りの獅子舞は、一年に一度の大きなイベントでした。お祭りの2週間前から各家庭に訪問し、神棚に向かい一曲を丁寧に舞う習慣がありました。

練習というものが無かったのでこの間に子どもたちは一生懸命に獅子舞や太鼓、鐘を覚えしました。

しかし、お祭り当日は大人たちがたくさん集まり子どもの出番はほぼ無く、子どもたちは悔しい思いをしています。懐かしい昭和の時代です。平成に入ると子どもたちが

獅子舞の中心です。お祭りの1週間前から集会場で練習を始め、子どもたちに覚えてもらっています。

最初は形を覚えるのがやっとですが、中学生くらいになると獅子の動きが大人びてかっこよくなり、個性も出てきます。その子どもたちが活躍して「まるで願祭り」では子どもグランプリで2年連続で優勝しました。いい機会を与えてもらって、獅子連にも少し活気が戻ってきたのですが、最近では子どもの人数が減り、存続の危機です。

代々続けていくことは何事も難しく使命感だけではどうにもなりません。秋祭りの鐘や太鼓の音色は心に響きま

代表 植田 隆

す。地域文化の獅子舞をどうにか次世代につないでいきたいと思ひ、頑張っています。



お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人です。

●お問い合わせは議会事務局へ
☎(087) 891-3311

次の定例会は、9月上旬の予定です。

インターネット中継
サイトはこちら



編集を

終えて



6月の定例会は、新議長に市原議員、新副議長には鎌倉議員となつて初めての議会となり、無難に終えた。三木町議会の議員は15人中、1・2期の議員が10人と多い。皆が個性豊かで、各々の地域や立場で、使命感を持って議員として活動している。

他者の心に寄り添う豊かな想像力があってこそ、困難な課題に立ち向かい、我が三木町と町民のために頑張ろうとしている。

「優」という字は人を愛うと書く。互いに相手を思いやり、相手の立場に立って励まし合っていく。そうしたスクラムが広がった分だけ、人に優しい社会は築かれていくと信じている。(森本 晃司)

議会だよりは私たちが
編集しています。

| | |
|--------|-------|
| 編集委員長 | 溝淵 裕子 |
| 同 副委員長 | 友保 陽子 |
| 同 委員 | 森本 晃司 |
| 同 委員 | 中川 和樹 |
| 同 委員 | 岡 昌吾 |
| 同 委員 | 福家 昭三 |
| 同 委員 | 川波 礼子 |
| 同 委員 | 鎌倉 大祐 |